



寢位不寤問答 下

73
6563
2止



73
6563
2

官位不審問答卷下

言上條々

坊官除目之事

春宮方除目ノヨレ候歟

勿論ニ候

然ラハ於當坊御執行候哉

立坊トテ皇子ノ春宮ニ御立ノ日ハ於内裏ラ

コナルノ執筆ハ大辨モレクハ他ノ宰相ナリ清

書ノ儀等ツ子ノ除目ニラナシ

大間之事

昭和十六年一月十一日寄
尼野貴英氏贈

コハナシ夕續紙ニ書之

上卿事

不可補之可稱執筆歎仁安元年除自寫之侯

主馬判官事 春宮方ノ官ニ候哉、勿論ニ候

主馬判官盛久ト申ス事

是ハ推量候侍ニテ使ノ宣旨ヲ蒙リタル者ニテ候ハシスルソノ仁又主馬ノ首ニ任シタルアイタ兼官ノコ、ロト覺ヘ候

東宮方ニテモ使宣旨ヲナサル、事ニ候哉

不可有之候

檢非違使事

此事不詳候四府ノ佐尉志等使宣旨ヲ蒙リ候トキ檢非違使ト申ス号ヲ補セラレ候哉職原抄ニ檢非違使四府各別ニノセラレ候トコトニ同等ノヤラニ稱シ候イカン

此事委細ニ三ハ候參議ニテモ中納言ニテモ檢非違使ノ別當ニ補スル日四府ノ督ノコトクニ任スル

事ニテ候ナリ

別當ニ攝家并高位モ補セラレ候哉

勿論ニ候顯職トテ特ニ執スルナリ

使宣旨ト弔スル事

使ノ宣旨トイハトテ使ヲツトムル事ハナキ官

ニテ候非違ヲタシカシカフルニ使ト云コトニテ

ニテ候洛外ナトハコトニ太理ハカリソメニモ出

マシキコトニテ候ナリ

使宣旨ヲハ諸司四職等ノスケセウナトモ補シ

侯哉

スケセウニテ候トモ使ノ宣旨ヲ蒙ルノ日カナラ

ス四府ノ尉ヲ兼任スヘキ事ニテ候

將曹府生事

此兩官隨身ナトモ任スル由仰ラレ候キ 勿

論ニ候 兵仗ヲタマハル人々相シタカフヨ

シニ候イツレノ家中御給候哉

將曹ハ樂人ナトモ任シ候府生ハ大將ハカライ

ニテ任シ候官ニ候兵仗ハ攝關大臣ナト可然

侯人宣トセラレテ賜侯ナリ

勢多木判事ノ支 中原氏ノヨシ仰セラレ當時誰屬シ侯ヤ

比野ニ家礼トテ近來ニテ章清朝臣ト申セシ

ソノ子今ニ現在ニ侯

大中少判事ノ号武家ニモ可在侯哉

サモヤトヲホ工侯中判事近代不任侯欵

鎮守府事 兼官ノ類ニ侯ヨシ仰セラレ侯キ兼

官ニハイツレノ官ヨリ兼之侯哉

陸奥守タル人ハ多クハ兼任スルコト也此事職原

抄ニ侯哉

准三宮事

攝關并后宮法中此宣旨ヲカフムラレ侯清

華其例ニレニ侯欵

愼ニ不得取見侯

將軍家被任侯哉

鹿苑院殿毎事被攝攝家昇進之間ハシメ

テ令蒙此宣旨給侯

謚号事

近代停廢之由被仰候キ仁義公以來大
畧断絶ニ候太政大臣并三公被薨候トキ
當官ナカラ前官ニナサレ候是規模イカニ
仰候シ前官ニテ被薨候者可為如何候
哉

右當官ニテ薨シ候者ニ可為謚号之事候間
前官ノ分ニ用候ナリ前官ニテ薨候者不可
為謚号候道理候哉
其人納言ニテ逝去之時如何

文無其沙汰候事

淡海公 貞信公 御事

謚号ノトキ國ヲ勅許候トヤラン被仰出候キ
其國々如何

淡海公 近江 昭宣公 越前 貞信公 信濃 等ニ

候ヤラニナ國ニ封セラレ候ニテ候

禪師号事

特賜ハコトニタハルト云コト也

南家式家 京家等ノ事

南家武智磨南カケタチチ 大臣大臣 淡海公淡カハ 一男 此子孫信西入

道多モ此ナカレナリソノ外武邊武カヘ 藤氏等トウジ 在在

式家式カケ 宇合宇カウ 参議参カキ 二位二位 式部式カ 卿淡海出卿カウ 三男

京家京カケ 磨磨 参議参カキ 三位三位 左京大夫淡海公

四男

散三位 散二位事

散一位ト称スルコトハ每之候但レ大臣ナトモ前官
ノトキ一品ノ人ハ散一位ノコトニテ候 各自ニ散一位
トツカフコトハキナレ候ヌナリ

同散三位事

地下ノ三位ナトヲモ申ス由仰セラレ候キ
諸大夫醫陰等ノ事ニ候堂上ノトモカラニテモ
不經参議ヲハ散三位ト申候ナリ

叙留ノ二字ノ事

叙留トハ縦令六位ノ將監叙爵ノ日猶將
監ヲ如舊帶シ五位ノ少將四位ニ叙スルトキ
少將四位ノ中將三位ニ叙スルトキ 中將如元
ナト候事ヲ申候ナリコノタクイアミタアルキ

二侯（トモ）大都叙留ノ名目ハ尤モ此等ヲ申
シ候ナリ

参議ノ事 從四位三位二位ニテハ當官ニ候

参議ニ當官叙之候也

俊成卿 六百番歌合ニ入道皇太后宮大

夫從三位藤原朝臣俊成ト候事イカン

歌合ナト位署ニハ三ナ如此書来リ候コレ内々

之義ニ候ナリ細々喚名ニ入道大納言宰相

入道ナト申候如此ニテ候

入道ノ事

北コレハイカニモ執シタル号ニテ候公家ニモ尤モ

称シキタリ候武家ニテモ可被執候事ニ候

外記局ノ事

是ハ清家中家ニ任シキタリ候官トモ少ク

近來定ニリタルヤウニ候ノ人事ムカシハ他人

氏ニモヲホク補シ候シカレトモ中古已來ハ清

中兩家ノ外不任之候也

上北面ノ事

諸家諸大夫撰家清華家礼人々 勿論

二侯 被任侯哉

地下殿上人地下北面等ノ事

撰家清華家礼ノトモカラ四品ヲハトケテ參

内侯ハ又人ノ事候哉

殿上人細々參内侯ハ又トモカラ北面ニ候也

アナカ千地下ノ殿上人トハ不可稱候

北面極官ノ事

北面ハ下北面トテ只諸家ノ侍院中ノ奉公ヲ

勤メ候也官位ハ尋常ノ侍ニ相替ル事ハ云々

候 又醫陰ノトモカラコトキ諸家大夫等

昇殿ヲユルサル事候ハソレモ夕、用候所ハ

地下ノ輩ニコトナル所ナリト是名中古以來ノ

用ニテ候ナリ

青侍ノ事

侍ノ摠名ニ候女房ヲ青女ナト云ト同事

禁中ニモ候哉 瀧口ノ侍内舍人ナトテ殿

上方ニ候候事ニ候ナリ

觀察使事

是ハ上古參議ノ別名トシテ侯委細職原抄
ニアルカ當時斷絶侯官也

華族事

誰人可稱侯哉

攝家ノ一族清華ノ餘流ニテヲ可稱侯哉一

向俗語ノ三歎

御方

君達

若君

攝家清華ノ餘流ニテヲ可稱歎

僧正事

是ニ大少侯哉

云之侯

正權二字事

正六轉正トテ權僧正ヨリ正ニ

轉シテ夕、僧正トヨビ侯ナリ

唐名ニ朝臣ノ尸事

唐名ニ公卿ハ卿字殿上人ハ朝臣ヲ付テ喚

侯哉 此分ニ侯

寒張女王事

女王トハ王氏人ノ女ニテ侯依テ當時伯ノ息
女勤之侯典侍己ラ寒張ノスケト稱シテ

誰ニテモ禁中伺候ノ典侍勤之此兩人高
御座トテ天子ノ御座ノ前ニ垂ラレタル戸分
ヲ左右ニヨリカ、ケテ退クナリツノトキ天子
ノ龍顔ヲ百官拜シクテニツルナリムカニハ朝
賀トテ毎年正月一日此儀式アリ近代ハ御
即位トテ一代一度此礼仪アリ

女藏人事

何事其役ニ候哉又女藏人殿上ニテ喚候哉
禁中ニテ朝夕下臈ノ女房ノ取役ヲツトムル

ナリ女藏人左近ナト勅撰ニモ入候ハ小大君

ノ事ニ候哉

後醍醐院女藏人万代

ナトモ近代ノ集ニ入候ニコトニ女藏人殿トモヨ

フヘク候ヘトモ今ハサヤウニ喚候事ハ候ハス

トタ、其人ノ名ヲ喚候タトイ國名ナトツケ

候ヘハ其國ノ名ナトヲ喚候ナリ

か自主殿司得選事

か自ハ内侍取ニ候シ候主殿司ハ殿上ニ候シテ
藏人兼職事ナトニミヤツカイ仕リ候又大臣

殿上ニ着^シ候トキ裾ナラシタリナトモ申
者ニテ候得^選ハコノ内ニテハアカリタル者ニ
テ候采女^ヲカケテモ千申候アイタ御膳
ノ手長^ナトラモ沙汰^シ申又ハ典侍^{内侍}ノ
髪^アケトテ髪^ラアクル事ナトモ得^選カ沙
汰ナリ

女叙位事

此叙位ハ正月八日式日ナリ近代^{隔年}ニ是ラ
ヲコナフ内采トハ不^稱之^ヲ執筆^ト可^稱候^{ツ子}ノ

叙位ノコト

三人叙位ト云誰々ニ候哉

東^亞堅子

團司

主水

此三人ヲ三年

ニ一度ウチカヘク一人ツ叙^之候ナリ

三位以上實名ニ^卿ノ字ヲ加ヘ候事

自身ハサラニ不可^書之^候他人ハ書^之子

細^ハ事ニヨリテ可有^之候コハソノ人ヲ執^{スル}心

ニテアルヘキカ

位^署ニ位ヲ加ヘ候ハ^卿ノ字重^説タルヘキカ

知ノ字執スルニテ侯へハ重説ハナリ侯ニキカ
笏ノ事 上下ニヨリテ長短大小侯ヤ

サモ侯ヤラント見及侯但シ道理ヲ申シ侯ハカ
ナラスサモアルニキ事歟

象牙フクラシバ等ノ遠如何

コレハ公方ニ御用侯臣下ハ儀服トテ玉佩ヲ着

シテ礼服ヲ着用侯トキ牙笏ヲ用侯ノ外ノ

衣冠ノトキハフクラシバノ笏ノニテ侯

没官領事 公家ノ關所ノ事侯ヤ

勿論ニ侯 誰人ノ取知ニテモ公方ヘメサ

レタル關所ノ事ナリ

式條注尺作者位署事

大理右兵衛督藤原基氏 辨別當右衛

門督藤原實有此位署分別如何大理ハ別

當人唐名歟 勿論ニ侯

別當ノイツレノ官ニテ侯ラヘ第一ノ上ニ別當ト

書侯モノニテ侯コノ書狀可然侯

前別當右衛門督 是ニ夕兼官ノ心ニ別當

ハ前官ナカラ位置此分ニ候ヤ
是ハ尋常ナラハカヤウニハ不可書候ヘトモ
別當ヲ執シ候コロ又式條ノ事ニテ候ハ大
理ノ方經歷ノ仁可為規模之間己ニシノ職ヲ
去トイヘトモワサト如此書申候哉ノヨシ推量
候シカラハコノトキ基氏ハ別當右兵衛督當
官實有ハ前職之人トミエ候ナリ
律令格式事

律令十卷
律十卷

貞觀格十卷
延喜式五十卷
此外

儀式十卷
此外格式猶在之歟

律ハ專ラ刑ノ罰ノ事
沙汰スル歟

令ハ天下ノ法度ヲ定ムル書ナリ

格式ハ律令ノウヘノ事ヲタヒアラハシテソ

ノトキノ政ノヤウヲ注セル歟

太政大臣事
此官ニ大將ヲカケテモ任

セラル、事モ候ヤ
兼スル事候ハズ候

大臣兼事
兼官イタク不問候

関白攝政ナトニテ太政大臣ハ別當ヲカ子
ラル、事侯ヤ 大納言モ近例ハ兼ヌル

事侯ハズ侯中納言以下ノ兼官侯

太政大臣清華ノ家ニ被任侯哉 任之侯也

則三條ニハ八條大相國實行公西園寺ニハ

條相國公經公德太寺ニ水本相國實基

公洞院ニ山本相國公守公花山ニ花山相

國兼雅公大炊御門ニ六條相國頼實公久

我久我相國雅實公ヲハレメトシテコノ家代

代ニテ任之来リ侯ナリ贈官ハ帝ノ外祖
タル人贈太政大臣連綿侯近代毎度贈
官侯ナリ是ハ別ノ儀ニ侯ナリ

卿ノ字事 上階已後實名ニ付侯事勿

論ニ侯哉 此分ニ侯

二位三位卿ナト稱スル事侯哉

サモ侯ヘキヤラシ細々カヤラニ不申付侯

八省卿事

省ノカミト云心ニ侯公卿ノ卿ノ字ニ相カ

ハリ侯ハ省郷ノ内ニ治部刑部宮内ヨレハ
四位殿上人又ハ地下ニモ任之侯餘ノ五省ハ
公郷ノ外ハ不任之侯歟

唐名事

上階ノ人ニハ中書郷礼部
郷工部郷或ハ左京兆郷ナトモ可呼侯
哉 サモアルヘク侯

四品已後左京兆朝臣ナト書札ニモ書一々
呼事侯哉 勿論ニ侯

宿祿 真人 連 縣主ナトモ可為其分侯

哉 此分ニ侯

檢非違使宣事

口宣ナトハ出侯ハズ侯ヤ
出納コトハニテ申レ渡侯ト申レ侯出納ハ藏人
ノ事ヲ出納ト申侯使宣旨ハ官ニ仰スヘ

キニテ侯

勅命ノ様如何被仰侯哉

已前ノ卷ニ注之又賧時ニ補スルトキ口宣ヲ
書テ下レ侯事モ近例ニ侯ナリ

大臣被任事無之侯哉

大臣ハカナラス可^キ行^{コト}節會^{セツケ}ニテ侯^{コウ}大臣^{ダイジン}檢非違^{ケンヒワイ}使^シタル事^{コト}曾^{ソウ}テ以^{ヨリ}不可^{コト}有^ル之^レ也

叙^{コト}位^イ除^キ目^メ同^{トウ}階^{カイ}事^{コト}

蔭^{イン}子^シ蔭^{イン}孫^{ソン}

無^ム位^イノトキ^{トキ}用^ヒ之^ラ侯^{コウ}夕^タレ叙^{コト}位^イ

ナト同日^{トウジツ}ハシメテ叙^{コト}爵^{キョク}侯^{コウ}人^{ニン}ナトハ其^{ソノ}父^フノ位^イニシタ

カヒテ上^{ウエ}ニ書^{カキ}侯^{コウ}條^{ジョウ}近代^{テイゲ}此^{コノ}分^{ブン}ニ侯^{コウ}

或^シハ蔭^{イン}ヲ不^ズ立^タト申^{マウ}侯^{コウ}事^{コト}侯^{コウ}哉^ヤ

是^{コト}ハ事^{コト}ニヨル^ルヘキ事^{コト}ニ侯^{コウ}

親^{シン}王^{ワウ}ニ國^{クニ}司^シ尊^{ソン}号^{ガウ}ノ事^{コト}

上^{カウ}総^{ソウ}上^{カウ}野^ノ常^{ジョウ}陸^{リク}ナト必^ス任^ニ可^ク云^ハ之^レ侯^{コウ}ヤ

此^{コノ}分^{ブン}ニ侯^{コウ}ハカヅサト申^{マウ}侯^{コウ}上^{カウ}総^{ソウ}御^ゴ辞^ジ退^{タイ}以^テ後^{コト}

ノ事^{コト}謂^ル官^{クワン}ニモウツラレ侯^{コウ}又^{マタ}サキニ上^{カウ}総^{ソウ}ノ親^{シン}王^{ワウ}

ナトモ申^{マウ}侯^{コウ}歟^ヤ

受^{シユ}領^{レイ}事^{コト}

一人^{ヒト}シテイツレノ國^{クニ}ハカリヲ四^シ年^{ネン}ツ、御^ゴ經^{ケイ}歷^{レキ}

侯^{コウ}哉^ヤ

何^{ナニ}レノ國^{クニ}モ古^コエハ自然^{シゼン}ニ任^ニシ侯^{コウ}キ近代^{テイゲ}ハ有^テ名^ナ

無^ム實^{ジツ}侯^{コウ}七^{シチ}个^コ度^{タク}ナト申^{マウ}侯^{コウ}如何^{イカニ}國^{クニ}ノ吏^シ務^ム

ヲ庶直ニラコナヒタルヲ賞シテ申候

大臣モ兼帶侯哉 ナキ事ニテ候

藏人事 五位ハ勿論ニ候 六位イカシ

六位ノトキ地下ノ者モ藏人ニ補シ候ハ八昇

殿禁色ヲ聽サレ候

私曰以下畧之返答也然ハ可被注遣句ハ可

書改也

鑄錢司事

此職ハ上古ハ在所ナト定リ候哉

不分明候

官掌事

俊ハ何事カ專沙汰候哉

史生官掌トテ史生ヨリモ猶下ノ者ニテ太

政官ニテノ宮ツカヘラシ候也

主貢事

主馬ナト同類ノヤウニ見エ候

主貢ハ年貢ヲツカサトリ候哉

姉小路判官明辰事

是ハ道士哉ラニ兼リ侯志ハ志ニ侯ナリ判官
ハ左衛門大尉タルヘキニト存侯如何

此分タルヘク侯ナリ志ニテ侯ヘトモ自然父祖
ノ時ヨリ申ツケ侯ヘハミナサヤウニ喚付侯コト

陰陽家ヲハ陰陽頭ナラテモ陰陽頭ト申
醫道ヲハ典藥頭ナト申サニ申侯其類モ又

可有之侯哉

兵仗ヲ賜事

大臣ナトノ武士ヲ御給之事侯哉

左右何人ナト、数ヲ定メテ給シ是規模アル

事イツレノ官ニテノ事ヲモ兵仗トサレテ可申

侯哉

皆随人内舍人ノ類ニテ侯

帶刀藏人兩官事

東宮方ノ官ニテ侯哉 帶刀東宮御

座ナキトキハ不可有ニテ侯

殿上藏人 禁中ノ事ニテ侯各別ニ侯マ

九人ノ官ナルヘキ事ニテ侯

藏人帶刀

當時ナキモノニテ侯ホトニ帯

刀ノ任道理アルハカラサルニテ侯

左京大夫位署事

義典代々叙正五位下其トキハ正五位下守左京

大夫多し良朝臣

此分ニ侯

左京大夫正五位下可然侯由被仰出侯キ

愚存ルハ只此分ニ侯ト覺悟侯

官高ク位卑キトキハカナラス守ノ字可有之侯

哉古例勿論ニ侯

位ト官ト相當ニ位ヲ上ニカキ侯 勿論ニ

侯一タ位モトヨリヒキクアルアイタ官ヲ上ニ

カキテ位ハ下ニアルヘキヤウモナクコロエラレ

侯トヲホエ侯當時ハ一タ從四位上行左京

大夫ノ一 如此アルヘキニテ侯

左京大夫正五位下守多侯

就立身始而叙爵ノ事

姓ハナニニテモ侯ヘアヲ覺悟侯ハ又仁爵ヲ

ハニメテ仕リ侯テイカン

尸ノナキ姓ハ不^{ユカラ}多モノニ候尸アル姓ハカナラス
ソノ尸ヲカクヘキ事此改^カコ、ロエス候

敬^セ状^{ジヤウ}事

吾妻鏡ナトニ廻^{クワイ}文ノヤウニ候

オヤウニテハナク候敬状トハ其事アルヲソノ日ノ
事ニシタカヒタル人々ヲ書^{カキ}テアケル折^{フリ}帋^{カミ}ヲ敬

状ト申シ候ナリ

女^メ叙^{シヨ}位^イ

東^{アツ}豎^{ハラ}子^ハ

園^ニ司^シ

主^モ水^ミ

是ハ女ニテスナハキ水ノ方ヲツカサトルモ

ノナリ 東^{アツ}豎^{ハラ}子^ハハ天子ノ御草鞋トテ御沓

ナトヲモツ役^{ヤク}ヲスル者ナリ 園^ニ司^シハ御門^モモリ

ニテ鑑^{カキ}ナトヲアツカルモノナリ

笏^{シヤク}事

玉冠^{タマクワ}

玉佩^{タマクハ}

礼服^{レイフク}

朝^{アサ}賀^カトテ元日ノ公事ノコトハヒサシク夕エテ御

即^{ソウ}位^イノトキ着^キ之^シ其トキハ笏モ象牙ノ笏ヲ

用ルナリ笏ハ平生ハ木ニテ造リタルヲ用マ心ハ

忽^{コト}忘^{ワスレ}ノ事ヲシルレ付テミルヘキコトナリ仍^{ナラ}テ忽^{コト}

ノ字ニカタトリテ笏ヲ用ユサレトモコソトハ不^{ユカラ}云^ハシヤ

ヤクトコレヲイフナリ

御冠ニ中子紙ト申事

中子紙トハ薄ヲタミテ纒ヲ中子ノ上ノ方ヘカ

ケハシテソレヲムスフ紙ナリ天子ノ外臣下不用

之ナリ

小直衣

俗ニソハツキト云大臣着之大将又着之内衣也

直衣ナラシトテ夜ノ内ニテ服スルコロナリ

水干尋常見ナト人用ルナリ

引直衣 天子ノ御用ヒアルナリ私ニ不用之

襖袴 侍ナト用之

色フシ又クヒカミナトアリ如此筆端ニソノ儀

申シノヘカタシ

半臂

是ハ束帯ノトキ下ニ着スルモノナリ袖ハナクテ

ワチカケテキル襦トテ腋へ出ルモノナリ

布衣

狩衣ノ事ナリ

裾 黒キウスキ布ナリ

衣冠

袍ヲ指貫ノ上ニキルナリシヤク装束ノ色々イロ侯儀キ
ハソラニハ注シイタシカタク侯

束帶

表袴ニ袍ヲキルシタ下襲ナトイロクノカサ子カサ子
アリ下襲ノ尻トテ裾ト云物ヲ引ナリ

鞞ヲ負ツク太刀ヲハク事

鞞ヲ負事兵衛ノ事ナリ兵衛ハ平胡録ヒヤナクイ
壺胡録ナト時ニ随テ帶之帶タス劔モノノ品シヤク

モ相替アヒカ侯コレモクハレキコトハ注シカタキ事ト

モニ侯羽林ナトモ是ヲ帶シ侯哉

勿論ニ侯

勘解由カクケユ長官次官ノ事

此官齋宮ニ齋

院ニ属シ侯子細如何

齋宮長官次官齋院長官次官ハ又各別

勘解由使ノ長官次官又別ニアルナリ職原抄

ニ能見侯哉

女院号事

女院号カフムラセタマフコト帝王ノ母后御
妹后宮ナトムカレハアマタモ御座候事ニテ
侯八條院ト申候シガ屋ニナラセタマイテノ
千院号カフムラセタマイ候始メニ侯ヤトヲホ
工侯近代ハミナ御出家已後院号連綿ニ侯
宮々ノ妻ヲハナニト申候哉
當時ハタ、南ノ御方東ノ御方ノナト申ノ三
ニテ侯宮ニヨリテ御息所トモ申ヘキ事候哉
攝家同如何

北政所 勿論ニ候

清華
平皆近代宮々ナトモ同ク何ノ御方又ナニムキ
ナト申候

母公
別ノ事ナク候自然ソノ在所ナトヲ呼来候

室家
後家ナトモ物ニハコレヲカクナリ
御香賽 香典 香資

追善ナトノ事ニ送折紙如此ニ候 勿論ニ候
追善ナトニ不可限候哉法事ニ六摠シテ如此
称シ候条無子細候歟 勿論ニ候

被物

捧物ナト申候事是又物ニヨリテ可替候哉
勿論ニ候

平家ニ権ノスケ少将トカタリ候ハナニ官ニテ候哉
中宮権亮歟少将ニテ宮ノ権亮ヲカ子タル
ニテ候

受領ニ守ハ 勿論ニ候 國司タルヘキニテ候ヤ

國司ハ則守ノ事候哉
从掾目國司ノ下ノツカサ 勿論ニ候

掾次次第ニ昇進候哉
其事モ可有ニテ候

式條追加ニ式部丞諸司助事准執負尉功以百
貫可拜任之由候四府尉ハ式部丞諸司ノ助ヨリ
モ劣官タルヘクト存候処任功同前如何

四府尉一武官等ヲトリテ執シ来リ候カナ

ラス功百貫ニ候式部丞又侍ニ執スル官ニ候
 諸司助モソノ司ニヨリテ助ハ諸司ニトリテ丞ノ
 位ニ相當候間如此准ジテ其功程ヲ儲候哉
 重科人配所ニ趣キ候トキハ毎官候哉 勿論ニ候
 兼官イタツ候下モ三ノ解劫アルヘキニテ候
 樂人伶人 左右近將曹將監ナト常ノ事候
 官位不審問答卷下終

寛文八^戊申歲孟秋吉辰

下御靈前

谷岡七左衛門刊行

